

エコのわパーソン

子どもと一緒にエコ活動！ こどもエコクラブ『エコエコ楽しみ隊』

代表サポーター 村上政美さん



万華鏡の材料です！
すべて廃材から
できています





万華鏡の作り方を説明する村上さん



完成した万華鏡を覗くと…

平成24年6月27日、今年度第2回目のこどもエコクラブが実施されました。クラブ名は『エコエコ楽しみ隊』、村上さんはサポーター歴12年目になります。

『エコエコ楽しみ隊』は、毎月1回、子どもスキップ西巣鴨放課後子ども教室で地域の安全管理員の方々と一緒に活動しています。今回は、「もったいない」を見つけよう！」をテーマに絵本の読み聞かせをした後、『もったいない』の意味について問いかね、「どうしたらものを生かすことができるか」についてメンバー皆で考えました。「食べ物を残さない」「小さくなった服は捨てずにあげる」など、たくさんの意見が出ました。エコ工作では、廃材を使った

万華鏡作りをしました。まだ使い道があるかもしれないものをごみとして捨ててしまうのは「もったいない」！お弁当パックの蓋や食品ラップの芯、使い古しの包装紙で、素敵な万華鏡ができました。

エコエコ楽しみ隊には、小学校1年生から6年生まで幅広い学年の子どもたちが所属しています。メンバーそれぞれの学年や性格を見ながら、「エコって楽しい」「地球を大切にしたい」と感じてもらえるように心掛けてのこと。またエコクラブを通して仲良くなった子どもたちは、近所で会うと挨拶してくれるそうです。そんな子どもたちとのやりとりや会話が楽しいと言う村上さん。地域の子どもたちの見守りにもつながっています。

「環境活動の効果は数字で表せるものではありませんが、必ず子どもたちの心に残ると信じ、これからも続けていきたい。“センス・オブ・ワンダー”*を分かち合いたい！」とのこと。子どもたちにとっては、環境へのより深い興味を持つきっかけになっていることでしょう。こどもエコクラブは、3歳から高校生まで誰でも参加できる「子どもたちのための環境活動」です。これからの未来を担う子どもたちと一緒に、環境について考える『こどもエコクラブ』、あなたも作っていませんか？



みんな真剣な顔で今日の活動記録を書いています



*センス・オブ・ワンダー…神秘さや不思議さに目を見はる感性

★こどもエコクラブとは…

こどもエコクラブとは、環境に興味のある子どもたちが集まって、代表者である大人（サポーターと呼ばれます）と一緒に環境活動を実践するクラブのことです。環境に興味のある人なら、メンバーを募れば誰でも簡単に作れます。豊島区内には平成24年7月現在、4つのエコクラブの登録があります。

こどもエコクラブ公式ホームページ <http://www.j-ecoclub.jp/>

ご意見・ご感想をお待ちしています

住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXのいずれかで「取り上げて欲しい内容、また、エコに関する情報」など環境政策課までお寄せください。

宛先：豊島区清掃環境部環境政策課
住所：〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1
FAX：03-3981-6207
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp

“住まい”と“食”から より良い暮らしを考える

株式会社吉川の鯨は、ひとりの大工が始めた活動です。住宅の作り手の視点から「本当に良い家とは何か」を考え続けていたところ“家”という箱だけではなく“暮らし”全体を考えなければならぬのではと思に至るようになりました。今では住宅の設計施工を行う職人集団「鯨組」と古民家を改築したカフェ「なんてん cafe」を通じ“住まい”と“食”から、より良い“暮らし”の提案をさせていただいています。



2012年8月リニューアル
なんてん cafe
03-5986-1087
MAIL: info@nantencafe.com

鯨組への問い合わせは
03-5986-1081
(月-土 8:00-17:00)
MAIL: office@yoshikawano-namazu.com

株式会社吉川の鯨 所在地：〒171-0043 東京都豊島区要町1-10-71F なんてん cafe/ 2F 鯨組



E C O E W A

「エコのわ」

地球と向き合う

「あなたの暮らしと地球をつなぐ 豊島区環境情報誌」

Vol.10

快適さのヒミツ「体感原理」

木材ってすごい！

エコのわスクール 豊島区立豊成小学校

子どもと一緒にエコ活動！

エコのわパーソン 村上政美さん